

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. () に該当する適切な言葉を解答用紙に記入し、文を完成させなさい。(各5点)

歴史的な建造物の保存・活用が、美術館・博物館の設立に関わった事例は多い。

従来、神社や寺院、城の保存は、「古社寺保存法」(1897年)、「国宝保存法」(1929年)、そして1950年の(ア)によって制度上、進められてきた。しかし、人々が暮らす身近な建造物の保存・活用が必要だと認められるまでに多くの時間を要してきた。

明治以降の建造物において、(イ)などの先例はあるが、1970年代以降、保存・活用の関心が高まった。1910年設立の近衛師団司令部庁舎が、1977年(ウ)によって東京国立近代美術館・工芸館に改修された。

(ア)は、法隆寺金堂の焼損を機に制定された。現在、2004年以来の改正が見込まれている。

(イ)は、フランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテル(一部)をはじめ、日本各地の近代建築を移築して公開する野外博物館である。1965年愛知県犬山市に設立された。

(ウ)は、東京国立博物館・東洋館(1968年)などの美術館・博物館、また徳田秋聲文学碑(1947年)をはじめ記念碑を設計した建築家である。(イ)の初代館長である。

2. () に当てはまる適切な語句を下の語群の a～d の中からそれぞれ選択し、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。(各5点)

(ア)とは、2年に1回開催される形式の展覧会である。(ア)の中で、現在まで続く最も古い歴史を持つのが(イ)・(ア)で、その第1回は

(ウ) 年に開催されている。

(エ) とは、3年に1回開催される形式の展覧会である。日本では2000年頃から大規模な(エ) が各地で続々と始まり、活況を呈している。本年(2017年)には、6回目の(オ) (エ) などが開催された。

(ア)	a. アニュアル	b. ビエンナーレ	c. トリエンナーレ
	d. クアドリエンナーレ		
(イ)	a. イスタンブール	b. ヴェネツィア	c. サンパウロ
	d. ベルリン		
(ウ)	a. 1874	b. 1895	c. 1913
			d. 1937
(エ)	a. アニュアル	b. ビエンナーレ	c. トリエンナーレ
	d. クアドリエンナーレ		
(オ)	a. あいち	b. 越後妻有	c. 瀬戸内
			d. 横浜

3. 資料・作品の保護のため、ガラスまたはアクリル製のケースやカバーの設置が考えられる。ケースやカバーを設置しない場合、鑑賞者が資料・作品に触れないようにするためには、どのような展示の方法が有効か。100字程度で述べなさい。(20点)

4. 安定の良くない立体的な資料・作品を展示する際の地震対策として有効なものを2つ挙げ、100字程度で述べなさい。(20点)

5. あなたは今、自館の資料・作品を他館の展覧会に貸し出す際のクーリエ(資料・作品の随行員)として、梱包された資料・作品に付いてその展覧会の展示室内に来ている。あなたは資料・作品の開梱から設置完了までの間、展示を担当する先方の学芸員とどのように協同するか。重要な局面を3つ挙げ、200字程度で述べなさい。(20点)